

JPN

メイドインジャパン

取扱説明書

JPN-001

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご愛用くださいますようお願い申し上げます。なお、この取扱説明書はお手元に保管し、必要に応じてご覧ください。

ご使用になられる前に

時計にキズ防止のためガラス、裏ぶた、中留めの金属部分に保護シールが貼られているものがあります。このシールをつけたまま使用されますと、シールの隙間に汗や水分、汚れが入り込み肌のかぶれや金属部分の腐食の原因となる恐れがあります。

必ずシールを剥がしてご使用ください。

また、電池の消費をさせないために、出荷状態ではリュースにストッパーがついている場合があります。その場合はリュースのストッパーを取り外し、リュースを押し込むと時計が動き出します。

安全にお使いいただくために

—必ずお読みください—

ご使用になられる方や他の人への危害および財産の損害を未然に防止するため、次の表示にて説明されている内容につきましては必ずお守りください。

⚠ 警告 表示内容と異なる誤った使い方をした場合に、重傷を負うなどの重大な結果になる危険性が想定されることを示します。

⚠ 注意 表示内容と異なる誤った使い方をした場合に、軽傷を負う危険性や物質的損害をこうむる事態が想定されることを示します。

⚠ 警告 二次電池のお取り扱いについて

- ・この時計に使われている二次電池は繰り返し充電を行えるため、従来の時計のように定期的な電池交換の必要はありません。
- ・時計本体から電池を取り出さないでください。やむをえず二次電池を取り出した場合は、誤飲防止のため、幼児の手の届かない場所に保管してください。万一電池を飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談して治療を受けてください。
- ・この時計に使われている二次電池以外の電池は、絶対に使用しないでください。他の種類の電池を使用し、充電されると過充電となり電池が破裂して時計の破損および人体を傷つける危険があります。二次電池交換の際は、必ず指定の二次電池をご使用ください。
- ・一般のゴミと一緒に捨てないでください。発火の原因となりますので、ゴミの回収を行っている市町村の指示に従ってください。

△警告 防水性能について

- ・当製品の防水性は下記の表をご参考に正しくご使用ください。
- ・リュースは常に押し込んだ状態（通常位置）でご使用ください。
- ・水分のついたままリュースまたはプッシュボタンの操作をしないでください。時計内部に水分が入り故障の原因となる場合があります。
- ・時計内部には多少の湿気があります。外気が時計内部の温度より低いときはガラス面がくもる場合があります。くもりが一時的な場合は支障がありません。
- ・海水がついた後は、真水を容器などに溜めサビが出ないようによく洗い落としてください。
- ・蛇口から直接水をかけることは避けてください。

<防水性能区分表>

名称	表示	仕様	使用例				
	文字板または裏ぶた		水がかかる程度の使用（洗顔・雨等）	水仕事や、一般水泳に使用	スキندايビング、マリンスポーツに使用	空気ポンベを使用するスキューバ潜水に使用	水滴がついた状態でのリュースやボタン操作
日常生活用強化防水時計	10ATM	10気圧防水	○	○	○	×	×

△注意 携帯時について

- ・幼児を抱くときなどは、幼児のけがや事故防止のため、あらかじめ時計を外すなど十分ご注意ください。
- ・サウナなど時計が高温になるような場所では、やけどの恐れがあるため絶対に使用しないでください。
- ・バンド着脱の際に中留めなどで爪や皮膚を傷つける恐れがあります。
- ・時計をつけたまま就寝されると、思わぬけがや肌のかぶれを引き起こす可能性があります。

△注意 バンドについて

- ・バンドは肌に直接触れています。そのため、汗やホコリなどで汚れた状態でのご使用は、肌のかぶれ・そで口の汚れなどの原因となったり、バンドが早く傷んだりする可能性があります。末永くご愛用いただくためにも、こまめなお手入れが必要となります。
- ・バンドは時計をつけた状態で、指が一本入る程度の余裕を持たせ、通気性をよくしてご使用ください。

△注意 お手入れについて

- ・時計本体やベルトについた水分や汗・汚れは柔らかい布などで、こまめにふき取るようにしてください。
- ・すき間（リュースまわり、裏ぶたまわりなど）の汚れやゴミは柔らかいハケや歯ブラシなどで取り除いてください。
- ・時計を長時間ご使用にならないときは、水分や汚れなどをよく拭きとり、高温、低温、多湿の場所を避けて保管してください。
- ・リュースを長期間動かさないままにしていると、付着しているゴミや汚れが固まり、操作ができなくなってしまうことがありますので、時々リュースを回すようにしてください。

△注意 樹脂製の部品について

- ・ご使用状況や保管環境によって異なりますが、部品が経年劣化していくなかで切れたり折れたりする可能性があります。
- ・長時間、濡れたまま他の製品と一緒にしたり、他の製品と密着させたりしておくとし色が移行する可能性がありますので、濡れている場合はすぐに水分を拭き取り、密着させたままにしないでください。
- ・直射日光に弱く、汚れが付着したまま放置すると色落ちや接着はがれなど劣化の原因になりますので、直接日光の当たる場所は避けて汚れたままにしないようにしてください。

△注意 金属や樹脂による肌のかぶれやアレルギー反応について

- ・金属や樹脂が原因となって起こる場合や、時計に付着している汚れ、もしくはバンドとのすれなどの不快感が原因で起こる場合など、さまざまな原因が考えられます。
- ・異状を感じたら、ただちに使用を中止して医師に相談してください。

△注意 ショックについて

- ・床に落とすなどの激しいショックはあたえないでください。外装・バンドなどの損傷だけではなく機能、性能に異常が生じる場合があります。
- ・時計を着用したまま、激しい運動や作業などを行うことは避けてください。

△注意 温度について

- ・極端な高温、低温の環境下では、時計が停止または機能が低下する可能性がありますので、長時間の使用や保管は避けてください。

△注意 磁気について

・アナログ式クォーツ時計では、磁石を利用したモーターが内蔵されており、身近にある磁気の影響によって正しい時刻を表示しなくなる場合があります。このような場合、磁気を発するものから10cm以上遠ざければ正常に動きますので、時刻を合わせなおしてお使いください。

※時刻を修正しても時間が狂う場合は、脱磁（磁気を消す作業）を行うと元の状態に戻すことができますので、お買い上げ店にご相談ください。

【時計に影響をおよぼす身のまわりの磁気製品の例】

携帯電話やラジオのスピーカー部、オーディオスピーカー、冷蔵庫のマグネットドア、バッグの留め具、電磁調理器、交流電気かみそり、磁石つき健康機器類（磁気ネックレス、磁気健康バンド、磁気健康マット、磁気健康枕、磁気健康腹巻など）

△注意 静電気について

・クォーツ時計に使われているICは、静電気に弱い性質を持っています。強い静電気を受けると正しい時刻を表示しない場合がありますので、十分ご注意ください。

△注意 化学薬品・ガス・水銀について

・揮発性の高い化学薬品やガスの中でのご使用は避けてください。

※シンナー、ベンジン等の各種溶剤およびそれらを含むもの（ガソリン、マニキュア、クレゾール、トイレ用洗剤、接着剤、撥水剤など）や体温計に使用されている水銀が時計に付着しますと、ケース・バンド・文字盤の変色や変形、破損を起こす場合がありますので、薬品には十分ご注意ください。

△注意 充電上の注意

・充電の際に時計が高温になると、外装部品の変色、変形およびムーブメント部品の故障の原因になります。

・高温下(約 60℃ 以上)での充電は避けてください。

【高温になりやすい充電方法の例】

白熱灯、ハロゲンランプなどの光源に時計を近づけての充電。

車のダッシュボードなどの場所での充電。

※白熱灯で充電するときは、必ず 50cm 以上離して、時計が高温にならないように注意して充電してください。

◇ 充電機能について

この時計は、文字盤の下にあるソーラーセルによって発電された電気エネルギーを内蔵の二次電池に蓄えることができます。充電は文字盤に直射日光や蛍光灯などの光を当てることにより行われます。

次のように心がけると、快適にご使用いただけます。

- ・月に一度は直射日光に当てて、5～6 時間充電する。
- ・常に明るい場所での保管

※直射日光での充電をおすすめいたします。蛍光灯や屋内照明では、充電が十分にできないことがあります。

※蛍光灯での充電の場合、デスクライトなどを使用し時計の文字盤から 20cm くらいの距離で光を当てて充電してください。

※日常長袖などを着用していると、時計が隠れて光が当たらないため充電不足になりやすいのでご注意ください。

※充電完了後、充電しないで時計が停止するまで約 6 ヶ月です。

〔充電警告機能〕

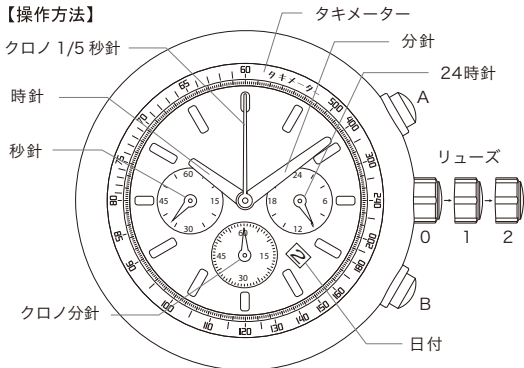
秒針が 2 秒遅針（2 秒毎に 1 回 2 目盛りずつ進む動作）して充電不足を知らせます。このときも時計は正確に動いていますが、2 秒遅針を始めてから約 1 日以上経過すると、充電不足で時計は停止します。充電不足にならないように、常に充電を心がけてください。

〔充電時間の目安〕

下記の表は、連続して照射した場合の数値です。また時計のモデル（文字盤の色など）によっても充電時間は異なります。目安としてご利用ください。

環 境	明るさ (ルクス)	充 電 時 間 (約)		
		通常に動く状態を 1日保つ	時計が停止してから 通常に動き出すまで	時計が停止してから 充電完了まで
屋外(晴天)	100,000	2 分	1 時間	5 時間
屋外(曇天)	10,000	6 分	2.5 時間	18 時間
蛍光灯(30W)の下 20cm	3,000	20 分	8 時間	65 時間
屋内照明	700	90 分	35 時間	—

【操作方法】



【時刻の合わせ方】

- ①リユーズを2段引き出します。(2の位置まで)
 - ②リユーズをまわして時刻を合わせます。
 - ③合わせ終わりましたらリユーズを0の位置まで押し込みます。
- ※24時針を確認して午前・午後を間違えないように合わせてください。

【日付の合わせ方】

- ①リユーズを1段引き出します。(1の位置まで)
 - ②リユーズを時計まわりにまわして日付を合わせます。
 - ③合わせ終わりましたらリユーズを0の位置まで押し込みます。
- ※日付を合わせる時に、時刻が午後9時～午前1時までの間の場合、一旦午前1時より時間を進めておいてください。日付が正しく変わらなくなる場合があります。

◇クロノグラフ機能の使い方

クロノグラフ機能は最大59分59秒まで時間を計測し表示できます。60分になりますと自動的に止まります。

- ①Aボタンを押してクロノグラフをスタートします。
- ②クロノグラフはAボタンを押す毎にスタート/ストップを繰り返すことができます。
- ③Bボタンを押すと、クロノグラフがリセットされ、クロノ1/5秒針、クロノ分針が0時位置に戻ります。

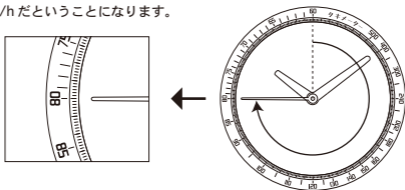
◇ タキメーター機能の使い方

タキメーター機能はおおよその時速を計算で算出することができます。タキメーターを利用して1kmを何秒(測定可能範囲60秒以内)で走行したかによって、その区間の平均時速を求めることができます。

- ① 計測開始と同時にクロノグラフをスタートさせます。
- ② 1km走行した際にクロノグラフを停止させます。

このときの1/5秒針の位置で、その区間のおおよその平均速度がわかります。

※下記、図の場合は1km走るのに要した時間が45秒ですのでおおよその平均時速が80km/hだということになります。



◇ 充電しても動作しない場合や異常な動きになった場合

【システムリセット】

十分に充電していても動作しない場合や秒針が1秒毎に運針していない場合、または異常な動きをしている場合は、次の操作を行うことで正常に機能する場合があります。

- ① リューズを2段引き出します。(2の位置まで)
- ② A・Bのボタンを同時に3秒押します。
- ③ リューズを0の位置まで押し込み、時刻や日付、クロノ各針を合わせます。

【クロノグラフゼロリセット (クロノ各針の合わせ方)】

クロノグラフをリセットした後や、電池交換した後など、クロノ各針が0時位置に戻らないときにこの手順を実行してください。

- ① リューズを2段引き出します。(2の位置まで)
- ② Aボタンを2秒間押し続けるとクロノ分針が1回転します。
この状態でBボタンを押してクロノ分針を0時位置に合わせます。
- ③ もう一度Aボタンを2秒間押し続けるとクロノ1/5秒針が1回転します。
この状態でBボタンを押してクロノ1/5秒針を0時位置に合わせます。
- ④ クロノ分針、クロノ1/5秒針が0時位置に戻ったらリューズを押し込みます。

※改善されない場合は、お買い上げ店にてご相談ください。